

## 申込書の記入方法

○次ページ以降は申込書の記入例です。注意事項にご留意の上、申込書を作成してください。

○申込書の不備・記載方法について事前に確認しますので、正式に提出する前に申込書(案)を当基金財務課に提出してください。ファックスやメールでの送付で結構です。

○申込書提出後に内容の変更が生じた場合は、遅延なく財務課にご連絡ください。

○ご不明な点等については、遠慮なく以下までお問い合わせください。

独立行政法人国際交流基金経理部財務課

Tel 03-5369-6054

Fax 03-5369-6034



**JAPAN FOUNDATION**

# 申込書の記入例

様式第1号(第4条第2項)その1(日本語)

## 特定寄附金申込書

平成〇年〇月〇日

独立行政法人国際交流基金

理事長 殿

住 所 東京都新宿区四谷 4-4-1

特定寄附申込者 JF 日本センターを支援する会

代表者氏名 代表 〇〇 〇〇

印又は署名

独立行政法人国際交流基金法第3条の趣旨に賛同し、同法第12条に定める業務の用に供するため、独立行政法人国際交流基金特定寄附金取扱規程に基づき、貴基金に下記寄附を申込みます。

なお、同規程第15条第4項及び第19条に該当する場合の下記寄附の取扱については、貴基金の判断に従います。

記

円貨で記入してください

1 特定寄附金額 10,000,000 円

(上記の金額は 確定額・予定額)

寄附金額が確定していない場合は、予定額を記入してください

2 払込み可能時期及びその額 20××年12月 5,000,000 円  
20××年12月 5,000,000 円

(注) 払込み可能時期が複数回に及ぶ場合は、その時期と額を記入して下さい。

※払込時期とは、寄附金を当基金に払込む時期です。寄附者が複数いる場合は、事前に寄附申込者が寄附金を取りまとめ、一括して基金に振込んでください。

※個人の方は1～12月が確定申告の課税対象期間となり、法人の方は所定の決算期末が申告の時期です。当基金の寄附金領収書は、当基金への払込みの日付で発行されますので、ご留意の上、払込みの計画をお立て下さい。

※当基金の会計制度の関係上、3月の払込はやむを得ない場合を除き避けてください。

3 特定助成対象事業の概略

(1) 日本語: JF 日本センター創立20周年記念日本文化紹介展  
英語: JF Japan Center 20<sup>th</sup> Anniversary---

Japan Exhibition

(2) 事業の実施期間 20××年 1月1日 ~20××年12月31日

寄附金を充当する事業の名称を日本語と英語で記入してください。

公演、展示、講演、セミナーその他の催しや交流を実施する事業の場合は、準備や資料作成、精算等に必要期間を含めた期間を記入のうえ、実際に計画の中心となる催しや交流等が実施される日程を付記してください。

(注)基金を設置する事業の場合は、基金の積立て開始日から基金の設置完了予定日までを記入して下さい。

(3) 事業の目的、計画内容、期待される効果等

①目的、②計画内容、③期待される効果、の3つは、項目別に必ず記入してください。申込み時点で計画している内容を、できるだけ詳細に記入してください。スペースが足りない場合は別紙を添付することも可能です。

また、事業の目的や計画内容等と関連した事業実施団体の活動内容や団体設立までの経緯、事業経費確保の手段等についても、簡略に記入して下さい。

さらに、事業に営利行為が含まれる場合や事業について特記すべき事項がある場合は、それぞれその内容を記入して下さい。

(記述例)

①事業の目的

JF 日本センターは X 国にて日本に対する関心が高まっていること受け、文化紹介講座などを開講することで日本・日本文化への正しい理解を普及させることを目的とした団体である。日系企業の進出が活発化し始めた 20 年ほど前に現地の高等教育機関の要請を受けて、これらの企業からの寄附金を基本財産として設立された。現在、X 国にて財団法人の認可を受けて活動している。

近年は日本のアニメ等をきっかけに子供達の間でも日本文化への興味が高まっているが、同国では子供向けに分かりやすく日本を紹介する機会がほとんどない状況である。そこで今回、同センターの設立 20 周年を記念して、子供に日本を知ってもらうための常設展示を設置することとなった。同展示は見学するだけでなく、展示の中で実際に体験学習ができるよう設計・計画されており、現地の子供たちが日本の人々の生活や日本文化に接する貴重な場所となることが見込まれる。

②計画内容

日本の伝統文化や歴史から現代の日本人の日常生活までを幅広く紹介、小学生～高校生までの子供は実際に手に触れたり体験したりすることを通して日本を学び、大人も日本に対する理解を深められるような展示を計画している。具体的には、日本文化に造詣の深いキュレーターの協力を得て、以下の展示を行う。

- ・典型的な日本の住居を再現し、畳の部屋、日本式風呂を体験
- ・典型的な学校の教室を再現し、制服や遊び着のほか子供達が日常使うものを展示。そこで書道や初級日本語を体験学習
- ・伝統的および現代の子供のおもちゃを展示し、実際に遊ぶ
- ・着物の展示と試着
- ・日本各地の子供の日常生活を紹介するパネル展示

③期待される効果

日本の文化、歴史、日常生活等および X 国の共通性と相違性を子供の頃から学ぶことによって、偏りのない対日理解を促進し、両国の相互理解が深まることが期待される。

## (4) 事業の収支予算計画

原則として事業が実施される現地通貨で記載してください。複数の国で事業が実施される場合は、いずれかの通貨に統一して記載してください。

(単位 US\$)

収 入		支 出			
項目	金額	項目	金額	特定助成金充当額 (積算根拠)	
1. 独立行政法人 国際交流基金 特定助成金	80,000	建築費	300,000 (1 フィート\$200× 1500 フィート)	特定助成金を充当する項目に内訳を記載して下さい。	
		日本人大工渡航 滞在費	30,000 (1 人\$10,000 ×3 名)		
2. 自己資金	35,000	デザイン費	50,000		50,000
		AV/コンピューター技術費	50,000		
3. 他団体 (個別に記入して下さい。)	〇〇〇〇財団	事前調査費	10,000		30,000
		展示品運搬費	50,000		
		展示品管理費	20,000		
		展示スタッフ人件費	20,000		
		カタログ製作費	20,000		
		広報費	20,000		
		通信費	20,000		
<u>他の団体から援助を受けるときは記入して下さい。</u>	400,000	消耗品費	10,000		
4. その他	80,000	できるだけ詳細に記入して下さい。書ききれない場合は、詳細な予算計画を別紙にて提出して下さい。			
		入場料、カタログ 売上収入等はこ この欄に記入して 下さい。	カタログ販売 5,000		
合計	600,000	合計	600,000	80,000	

(換算レート US\$=125 円)

(注 1) 外貨で記入する場合は、対円換算レートを記入して下さい。

(注 2) 基金を設置する事業の場合は、当該基金により実施される事業の収支予算計画を併せて提出して下さい。

#### 4 特定助成対象事業者

団体名

日本語: JF 日本センター

英語: JF Japan Center 英語の名称もご記入ください。

法人格 (財団)・社団 ( ) 設立 1983 年 1 月

代表者 役職名 Director 氏名 △ △ △ △

事務担当者 役職名 Manager 氏名 □ □ □ □

住所 \* \* \* \* \* X 国 国名も記入してください。

電話番号 \* \* \* \* \* ファクシミリ番号 \* \* \* \* \* \* \* \*

Email \* \* \* \* \* ウェブサイト あれば記入してください

特定助成対象事業者の概要、これまでの活動実績、団体の構成員等

JF 日本センターは文化紹介講座などを開講することで日本・日本文化理解を促進することを目的とした団体である。

現地にて財団法人の認可を受け、代表者の△△△△は X 国において日本研究の指導的な役割を果たす####大学日本学部の学部長を兼任している。また、その他日本研究機関、教育機関の研究者・教員などが同センターの事業評価委員会のメンバーとなっている。

同センターは日本に関する様々な資料を収集し、無料で閲覧できる図書室を設けているほか、週 2 回、書道教室や日本語教室を開講している。また、毎月 2 回「日本文化紹介デー」を設け、市民を対象に無料で生け花・茶道・折り紙などのデモンストラーションを行ったり、日本映画を上映するなど、年間を通し積極的に活動している。さらに、日本より高校生・大学生グループを招き、現地でのホームステイや現地学生との交流を行うなどの事業も展開している。昨年度の実績は書道教室にのべ 1,500 人、日本語教室に 2,000 人、日本文化紹介デーにのべ 4,000 人の参加者を得た。また、10 人の日本人高校生・大学生の現地訪問をアレンジし、1 ヶ月のホームステイ中に現地高校生・大学生等との交流会を実施した。(昨年の活動実績については、別添〇の年次報告所を参照)

これらの事業は、現地の教育機関・国際交流団体等との協力のもとで実施され、毎年高い評価を得ている。

特定助成対象事業者の設立目的、設立までの経緯、役員、構成員、機構、事業規模、事業内容、事業実績、褒章の有無、財務形態、営利行為がある場合はその具体的な内容などをご記入ください。

それらが記載されたパンフレットを添付していただいても結構です。

5 特定寄附申込者

名称

日本語: JF 日本センターを支援する会

英語: JF Japan Center Supporting Group 英語の名称も記入してください。

代表者 役職名 会長 氏名 ○ ○ ○ ○

事務担当者 役職名 氏名 ◇ ◇ ◇ ◇

住所 .....

電話番号 ..... ファクシミリ番号 .....

Email ..... ウェブサイト あれば記入してください

特定寄附申込者が団体の場合、団体概要、これまでの活動実績及び団体の構成員等

(注) 添付書類(5)及び(6)を提出した場合には記入不要です。

JF 日本センターを支援する会は本事業の日本国内での募金活動を行うために設立された任意団体である。

当会の会長は〇〇〇〇は日本センターを視察した際に、同センターが現地の対日理解に重要な役割を担っていることを目の当たりにし、本日本語講座設置事業が計画されていること、しかしその資金調達に苦慮していることについて説明をうけた。

この事業を成功させるため、日本国内からも本日本語講座設置事業に支援すべきと考え、国内の日本研究者・機関、日本語教育者・機関に呼びかけ、当会を設立するに至った。

なお、当会の役員・メンバーは別添リストの通りであり、月に1度役員会を開き、募金活動の見直しその他等について協議している。また、事務局は〇〇〇〇日本語学校内に設置し、専属の事務員を配置し、JF 日本センターと綿密な連絡が常にとれるようにしている。

募金活動は〇月より行っているが、各種マスコミに取り上げられたことで、現時点で目標額の半分にあたる5,000,000円の申し出を受けている。

寄附申込み者の設立目的、設立の経緯、法人格、役員、構成員、機構、事業規模、事業内容、事業実績、褒章の有無、財務形態、営利行為がある場合はその具体的な内容などをご記入ください。

それらが記載された別紙、パンフレット等を添付していただいても結構です。

(注) 特定寄附申込者と特定助成対象事業者が同一である場合は記入不要です。

添付書

- (1) 誓約書(様式第2号) 特定寄附申込者が署名・捺印してください。
- (2) 合意書(様式第3号) 特定助成対象事業者が署名・捺印してください。
- (3) 寄附者原簿(様式第4号)
- (4) 特定寄附金募集計画書(様式第5号)
- (5) 特定寄附申込者と特定助成対象事業者との関係の有無、その他参考となるべき事項を記載した書面  
(注) 特定寄附申込者と特定助成対象事業者が同一である場合は提出不要です。

特定寄附申込者と特定助成対象事業者とのこれまでの関係や、特定寄附金申込みに至った経緯、特定助成対象事業者との契約内容などを記した書面を提出してください。

- (6) 特定寄附申込者の略歴  
特定寄附申込者が団体のときは、代表者の略歴を提出してください。
- (7) 特定助成対象事業者の略歴
- (8) 特定寄附申込者が団体の場合、定款、寄附行為、規約又はこれに準ずるもの及び役員又は構成員の名簿  
定款、規約、役員・構成員名簿等、団体の概要を記載した既存の資料がある場合には、添付してください。
- (9) 特定助成対象事業者の定款、寄附行為、規約又はこれに準ずるもの及び役員又は構成員の名簿  
定款、規約、役員・構成員名簿等、団体の概要を記載した既存の資料がある場合には、添付してください。

(注1) 提出した申込書は、不受理になった場合も返却致しませんので予めご了承下さい。

(注2) 本様式は、理事長が特に必要と認めるときは、適宜修正して使用できるものとする。

## 誓約書

平成〇年〇月〇日

独立行政法人国際交流基金  
理事長 殿

\*「特定寄附金申込書」1 ページ目と同じ表記にしてください

住 所 東京都新宿区四谷 4-4-1

特定寄附申込者 JF 日本センターを支援する会

代表者氏名 ○ ○ ○ ○ 印又は署名

申込みに係る特定寄附金は、独立行政法人国際交流基金法第3条の趣旨に賛同し、独立行政法人国際交流基金特定寄附金取扱規程に基づき、貴基金へ寄附するものであり、個人又は法人の営利行為等の手段として行うものでないことをここに誓約する。

以上

(注)本様式は、理事長が特に必要と認めるときは、適宜修正して使用できるものとする。



## 合 意 書

平成〇年〇月〇日

独立行政法人国際交流基金  
理事長 殿

特定助成対象事業者が記入してください。

住所\*\*\*\*\*X国

特定助成対象事業者 JF 日本センター

代表者氏名 △ △ △ △

印又は署名

事業実施団体が海外の団体である場合は、英文の様式を使用してもかまいません。  
申込者と事業実施団体が異なるときに、合意書の正本の取り付けが申込み締切りに間に合わない場合は、ファックスでも受け付けます。この場合、後日オリジナルを郵送してください。

\*「特定寄附金申込書」1 ページ目と同じ日付を記入してください。

〇年〇月〇日付で JF 日本センターを支援する会 が当団体を特定助成対象事業者に指定して貴基金へ申し込む特定寄附金に関し、当団体が特定助成金の交付を受けることとなった場合は、当団体は、独立行政法人国際交流基金特定寄附金取扱規程の規定に従い、書類の提出その他特定助成対象事業者の義務を果たすことに合意します。

以上

(注)本様式は、理事長が特に必要と認めるときは、適宜修正して使用できるものとする。

様式第4号（第4条第3項）その1（日本語）

寄附者が確定していない場合は、寄附予定者原簿として提出してください。

なお、その場合には、寄附金払込み時に、再度本様式を用いて、確定した「寄附者原簿」を提出してください。

## 寄 附 者 原 簿

No. \_\_\_\_\_

整理番号	寄 附 者	住 所	受 入 銀 行	受 入 年 月 日	寄 附 額	累 計	寄附の事実について 基金広報媒体で 公表することへの同意	摘 要
	○山商事株式会社	*****	銀行	・ ・	1,000,000円	1,000,000円	<input type="checkbox"/> 公表してもよい <input type="checkbox"/> 公表しない	
	◇川交通株式会社	+++++	銀行	・ ・	1,000,000円	2,000,000円	<input type="checkbox"/> 公表してもよい <input checked="" type="checkbox"/> 公表しない	
	株式会社△△	-----	銀行	・ ・	1,000,000円	3,000,000円	<input type="checkbox"/> 公表してもよい <input type="checkbox"/> 公表しない	
	××電気工業株式会社	#####	銀行	・ ・	1,000,000円	4,000,000円	<input type="checkbox"/> 公表してもよい <input type="checkbox"/> 公表しない	
	○下 太郎	*****	銀行	・ ・	500,000円	4,500,000円	<input checked="" type="checkbox"/> 公表してもよい <input type="checkbox"/> 公表しない	
	□岡 花子	-----	銀行	・ ・	500,000円	5,000,000円	<input type="checkbox"/> 公表してもよい <input checked="" type="checkbox"/> 公表しない	
			銀行	・ ・				
			銀行	・ ・				
			銀行	・ ・				
			銀行	・ ・				
			銀行	・ ・				

「寄附者」「住所」「寄附額」「累計」の4ヶ所を記入してください。

個人の寄附者については「寄附の事実について基金広報媒体で広報することへの同意」に必ず記入してください。また、法人の寄附者についても、寄附事実の公表に関し希望がある場合は記入してください。

特定寄附金募集計画書

- 1 募集目標額 10,000,000 円
- 2 募集期間 ○○○○年○月○日 ～○○○○年○月○日
- 3 募集の形態  
募集の対象者: ×国進出企業、当会役員・メンバーの関係者・知人、その他の企業・個人  
募集の方法: 訪問依頼、募金パンフレット(別添)の送付
- 4 特定寄附金受け入れ予定が明確である額 5,000,000 円  
受入予定が明確である理由
- 5 独立行政法人国際交流基金の名称の使用予定  
(1)寄附金募集に係る印刷物等に独立行政法人国際交流基金の名称を使用する予定の有無  
有 ・ 無  
(2)有の場合、名称を使用する形態及び文言  
「現在、本事業に対する寄附金が独立行政法人国際交流基金特定寄附金として認定されるよう、申込みをしています。なお、申込みが受理された場合には、本事業に対する寄附金は税制上の優遇措置の対象となります。」
- 6 添付書類  
寄附金の募集要綱・趣意書等がある場合には、添付して下さい。  
募金パンフレット(別添○)

(注)本様式は、理事長が特に必要と認めるときは、適宜修正して使用できるものとする。

寄附金募集に係る一切の責任は特定寄附申込者が負ってください。

## 金額確定通知の例

規定の様式はありませんが、以下の例を参考に作成してください。

平成〇〇年〇月〇〇

独立行政法人国際交流基金  
理事長 殿

特定寄附申込者: JF 日本センターを支援する会

代表者氏名: 〇〇 〇〇 印又は署名

### 特定寄附金額の確定について

下記 1 の特定助成対象事業に対する特定寄附金（第 1 回／全 2 回）に関し、下記 2 のとおり金額が確定し、払い込みが可能となりましたので、お知らせします。

記

#### 1. 特定助成対象事業

- (1) 事業の名称: JF 日本センター創立 20 周年記念日本文化紹介展  
(2) 事業の実施期間: 20××年 1 月 1 日～20××年 12 月 31 日

#### 2. 特定寄附金

- (1) 金額: 5,200,000 円  
(2) 払込時期: 20××年 12 月 1 日

以上